

方向性を検討する財産分類

1. 博物館等、体験実習施設
2. 体育施設
3. 図書館（室）

本日は、**3分類**に分けて
議論を行います！



議論の対象施設

博物館等、体験実習施設 ～公共施設等総合管理計画における基本的な方針～

- ・旧市町村時代にそれぞれ設けられた施設で、地域の歴史や風土などを学ぶ施設としても重要であるが、佐渡全体を俯瞰するために施設や機能の集約化を図ることも重要。
- ・博物館ビジョンに基づき、施設の活用と整備について検討を進める。
- ・展示施設、実習工房は、学校など教育関連施設の空き室や地域コミュニティ施設に機能を移すなど、集約化・複合化を進め、総量の適正化を図る。



「費用対効果」だけで必要性を測れないが、効率的に運営できる形を模索する。

体育施設 ～公共施設等総合管理計画における基本的な方針～

旧市町村単位で整備が進められた結果、保有量が多い傾向がみられる。今後、利用実態や施設の老朽化を把握し、施設の適正量と更新の在り方等を定め、計画的な管理に努める。



「利用者数」、「立地」などから必要性を考慮し、「施設の老朽化」も踏まえ適正量と更新のあり方を検討する。

図書館（室）～公共施設等総合管理計画における基本的な方針～

図書館ビジョンに基づき、施設の活用と整備について検討を進める。



行政庁舎、公民館、会館等と既に複合している施設がほとんどである。

「費用対効果」だけで必要性を測れないが、効率的に運営できる形を模索する。

議論の進め方



1. 博物館等、体験実習施設

2. 体育施設

施設所管課からポイント説明ののちグループワーク

I. 施設の選別

～維持する施設、検討が必要な施設の区分け～

II. 30%削減プランで生じうる課題

III. 課題を克服するための改善策



佐渡市公共施設あり方検討会議

(A班)

<p>白 維持していく施設、他の機能を受け入れる施設</p> <p>A博物館</p>	<p>課題 30%削減プランで生じうる課題</p> <p>文化資料の保管場所がない</p>
<p>黒 廃止や譲渡、集約化、廃止、軽用などを検討する施設</p> <p>B資料庫</p>	<p>改善点 課題を克服するための改善策</p> <p>廃校校舎を活用する</p>

議論の進め方



3. 図書館（室）

費用対効果のみで測れる施設ではないものの、必要な図書館機能を維持しつつ、効率的効果的に運営できる方策を検討する。

① 施設所管課からポイント説明

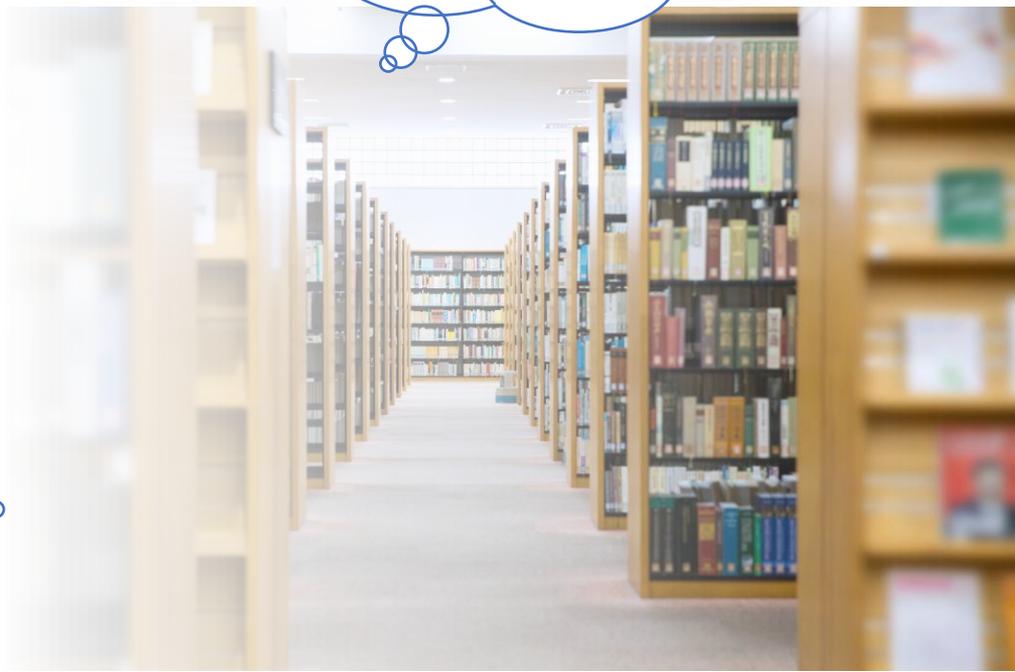
佐渡市の現状（利用者、人員、費用等）の共有

指定管理（窓口委託）
ICT活用

② 事例共有

図書館を維持するための取組としての
他自治体における取組み事例を紹介

コア図書館-サブ図書館
学校図書室の活用



議論の進め方



3. 図書館（室） ～グループワーク～

図書館のアップデート方法の検討

利便性、サービス等の水準を落とさずに効率よく運営していくためには。。。

佐渡市公共施設あり方検討会議

(A 班)

I. 目指す姿

事例を参考に、アップデート後の姿をイメージ

II. 課題

現在から目指すべき姿になるにあたって発生する課題

III. 改善策

課題を改善するための施策

